

図書と活動が融合した新たな学びの場

■ 図書館の方針

社会教育の推進、情報アクセスの保障、地域の歴史・文化の保存といった図書館本来の役割を果たしながら、誰もが快適に過ごせる運営を行います。

目的別のフロア構成

1階： 文学・歴史・専門書（深い学びや探究のフロア）

└文学、歴史、各種専門書を集約し、静かに思考を深められる環境を整備予定

2階： 料理・暮らしなど（生活に寄り添うフロア）

└料理、住まい、健康、趣味など、日々の暮らしに直結する身近なジャンルを中心に整備予定

3階： 児童書・ティーンズ向け資料（子どもや若者のフロア）

└0歳から高校生世代まで、子どもたちの成長段階に応じた図書や学びの資料を整備予定

独自の配架計画（生活様式のカテゴリ）

従来の学術的な分類にとらわれず、市民のライフスタイルや行動動線に合わせた独自の分類体系を採用。直感的で利便性の高い本棚づくりを通じ、日々の暮らしに密着した本との出会いを創出します。

階数	フロア コンセプト	ターゲット	主な機能	図書 ジャンル
3F	子ども 子育て	子どもと親 ティーンズ	キッズスペース 工作多目的室	児童書
2F	生活と活動 コミュニケーション	全世代	エントランス、 オープンラウンジ、 カフェ、受付、多 目的ホール・ルー ム、キッチン、展 示、広場	料理 暮らし 趣味 健康
1F	集中、研究、 歴史、知	全世代	サイレントルーム 閉架書庫	文学 歴史 専門書

■ 可動式本棚を活用して、オープンラウンジでもイベントを可能に

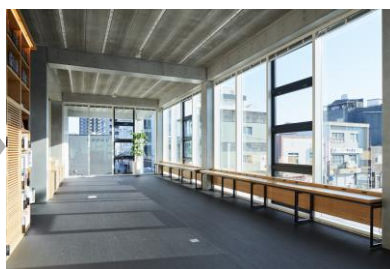
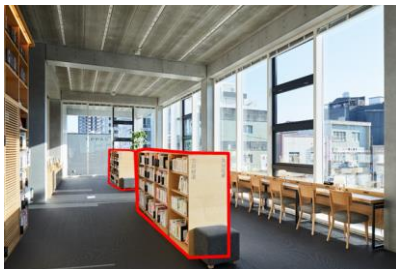
右上図面緑のエリアの**書架を可動式本棚を採用**することで、通常時は図書スペースとして機能し、イベント時はイベントスペースになる、「**重ね使い**」での**利用を提案**します。

柔軟な空間利用

【通常時】 図書スペース/書架として運用

【イベント時】 本棚を移動し、イベントスペースへ転換

閉ざされたホールや多目的スペースだけでなく、オープンな場でイベントを行うことで、本来の目的が異なる利用者も自然と巻き込み、新たな発見や交流のきっかけを創出します。



＜可動式書架 イメージ＞

本質的な役割を押さえ、時代に合わせた図書館サービスを提供

■利便性を向上させるセルフ利用環境の整備

①自動貸出機の導入

【課題の解消】

図書館の窓口業務において、多くの時間を占めている「図書の貸出・返却処理作業」の負担を軽減します。

【セルフ貸出手続きの提案】

自動貸出機を導入することで、利用者自身でスムーズに貸出手続きを行える環境を整えます。

【誰でも使える手軽な操作性】

直感的で分かりやすい操作性を備えており、高齢者や児童でも迷うことなく、問題なく貸出処理を行うことができるようにします。



＜自動貸出機 イメージ＞

②返却BOXの設置

閉館時間やライフスタイルを問わず、いつでも非対面で返却できる環境を整備します。さらに、図書館内にとどまらず、市民の生活動線上にある主要駅等にも設置を広げることで、通勤・通学や買い物の合間に手軽に返却できる、圧倒的な利便性の向上を図ります。



＜返却BOX イメージ＞

③スマートフォンでの利用手続き

【スマホ貸出への対応】

従来の利用カードに加え、スマートフォンがあれば資料の貸出が可能となるよう提案します

【LINE公式アカウントの開設と機能連携】

公式LINEを開設し、メニュー画面上で「蔵書検索」「配架場所の確認」「予約手続き」がスムーズに行える機能を導入します。



＜LINEメニューイメージ＞

④階を移動せずにその場で探せる、各フロアへの検索機設置

【ワンストップな資料探索】

階を移動する手間を省き、その場で素早く所蔵・貸出状況を検索可能

【フロアごとの利便性向上】

各階のテーマに合わせた本探しをスムーズにサポート



＜検索機イメージ＞

⑤閲覧対応型閉架書庫の導入による資料アクセスの拡充

一部の貴重な郷土資料を除き、**利用者が閉架書庫に入室可能**な「閲覧対応型閉架書庫」を導入します。安全面への配慮として、入室は受付制などの管理運用を想定しています。これにより、**計画に対して約1.7倍の資料に対してブラウジングが可能**となり、利用者の資料探索の幅が大きく広がり、知の物量を感じられる体験を提供します。



開架エリアからも見ることができる

⑥適切な資料管理と魅力的なコレクション形成のための方策

資料収集にあたっては、「**瑞浪市民図書館資料収集方針**」に則り、**適切な選定**を行います。選定会議を経て確定した資料については、貴市の承認を得たのち、発注処理を行います。地域の特性に十分配慮するとともに、収集対象とする媒体形式についても、時代性を踏まえながら随時見直し提案を行います。